

令和7年度 学校関係者評価実施報告書（まとめ用）

学校番号	46	学校名	静岡県立藤枝東高等学校 定時制の課程	校長名	森谷 幹子
------	----	-----	-----------------------	-----	-------

本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	成果目標	自己 評価	関係者 評価	意見
1	基本的な生活習慣の確立と自律心の涵養を図る。	<p>ア. 面接週間以外で面接を実施した教員 100% 「相談できる教員がいる」と回答する生徒、保護者 80%以上</p> <p>イ. 授業の遅刻・早退数が前年度より減少</p> <p>ウ. 通学時の交通事故 0 件</p> <p>エ. 「保健だより」の発行年 5 回以上 健康や安全に関する高い意識を持つ生徒 75%以上</p>	A	A	<p>○ 教員が日常的に声かけを行い、生徒・保護者ともに相談できる教員がいると感じている点は大きな成果だと思う。日頃の関わりが信頼関係につながっている様子がかえ、丁寧な対応が伝わっている印象。</p> <p>○ 基本的な生活習慣の確立を図るために生徒一人一人への丁寧なかかわりを感じることができる。その成果がアンケート結果や生徒の姿に表れていると考える。</p> <p>○ 先生方の温かな声掛けは、生徒にとって安心につながるだけでなく、自律的な登校へもつながると感じる。</p> <p>○ 「相談できる教員がいる」生徒、保護者共に 100%の回答は、先生方の日々の関わり方の姿だと感じる。本当に素晴らしいと思う。</p> <p>○ 大きな悪化ではないものの横ばい傾向であるため、どの層に課題があるのか把握できると次の対策が考えやすくと感じる。数値だけでなく背景の確認も有効だと思う。</p> <p>○ 交通事故ゼロは当たり前のように難しいことなので、日常的な指導の積み重ねが成果につながっていると評価できる。地道な取り組みの結果だと感じる。</p> <p>○ 数値が伸びにくい背景には生活環境や生徒事情も影響していそうに感じる。理由を把握できると現実的な対応が考えやすくなると思う。</p>
2	学ぶ意欲を高め、基礎学力等の定着を図る。	<p>ア. 「授業がわかる」と回答する生徒 75%以上</p> <p>イ. 授業において ICT を効果的に活用している教員 80%以上</p>	B	B	<p>○ 授業がわかると回答した生徒の割合は高いが、誰もがわかる授業づくりを今後も目指して、校内研修等を充実させて欲しいと思う。また、基本学力の定着を図っていくため生徒が主体的に学習に取り組もうとする意欲を育てて欲しいと思う。</p> <p>○ 生徒側としては授業もわかり、テストも実施できているので良いと思う。ICT 等は活用するに越した事はないと思うが、改善というより、残りの間、生徒に寄った指導をしていただけたらと思う。</p>

		<p>ウ. 年間3回以上の研修会の実施 生徒の学習改善につながる授業改善を行っている教員80%以上</p> <p>エ. 基礎学力テストの実施年間3回以上。資格検定へチャレンジする生徒3人以上</p>			<p>○ 授業が分かると感じている生徒が多い点は、教員と生徒の意思疎通がうまく機能している証拠として評価できる。安心して学べる環境づくりができて印象。ICT活用があと1～2名で達成という状況は十分現実的だと思う。一方でICTを使わなくても有効な実践をされている先生もいると思うので、形式的な目標にならない視点も大切だと感じる。</p> <p>○ 年間10回以上の研修実施はかなり熱心な取り組みだと思う。授業改善への意識が高いことが伝わってくる。</p> <p>○ どの資格を想定しているのかが見えると、より現実的な目標設定になると感じる。生徒の状況に合った内容選びが重要になると思う。</p>
3	<p>進路実現に資する望ましい勤労観・職業観を育成する。</p>	<p>ア. 進路行事参加後の振り返りによる肯定的な評価70%以上</p> <p>イ. 「自分の良いところがある」と回答する生徒70%以上</p>	B	B	<p>○ 肯定的評価が90%を超えている点は非常に良い結果だと思う。どの内容が特に生徒に響いたかが分かると、良い実践の共有にもつながると感じる。</p> <p>○ 進路に関わる行事等が生徒にとって有意義なものであったことが伺える。今後は夢や希望をもって前向きに生きようとする態度や意欲をさらに伸ばして欲しい。</p> <p>○ 自己肯定感の数値は、定時制の特性を考えるとある程度自然な傾向にも感じる。無理に数値を追うより、丁寧な関わりを続けることが現実的だと思う。</p> <p>○ 自己肯定感を持たせるのは大変かと思うが、とはいえ、生きていく上で必要な事なので、その力をつけてあげたい。</p>
4	<p>多様な人々との協働を通して、社会性(コミュニケーション能力)の向上を図る。</p>	<p>アイ. 各行事の参加率80%以上、満足度60%以上 各行事の事前・事後指導の実施100%</p> <p>ウ. 「人間関係が良い」と回答する生徒70%以上</p> <p>エ. スマートフォンの不適切な使用による指導0件</p>	A	A	<p>○ 様々な行事や活動等を通して生徒たちの良好な人間関係づくりが進められている様子を伺うことができる。今後は、生徒の社会性をさらに高めるため、地域や社会との交流の場を増やしていくことができればよいと思う。</p> <p>○ 行事の参加率・満足度ともに高水準で、行事が生徒の居場所づくりに機能している印象。素直によい結果だと思う。</p> <p>○ 自分の体験を言葉にして発表する機会は、生徒にとって大きな意味があると思う。教育的価値の高い取り組みとして評価できる。</p> <p>○ 生活体験発表で得た自信を一過性のものではなく、確かな自己肯定感へとつなげられる場が今後も設けられるとよいと思う。</p>

					○ 人間関係満足度は高い数値で、教員の日常的な関わりがよい結果につながっていると感じる。安心して過ごせる環境づくりの成果だと思う。
5	より良い学習環境の整備充実及び安心安全で生き生きと活動できる学校づくりを推進する。	<p>ア. 防災訓練の実施年間 2 回 地域防災訓練等への参加者数増加</p> <p>イ. 健康や安全に関する高い意識を持つ生徒 75%以上</p> <p>ウ. 支援が必要だと判断した生徒への面談の実施、SCへの接続 100%</p> <p>エ. 個人情報の取扱い等に関する不祥事 0 件</p> <p>オ. 不備・未実施等 0 件</p> <p>カ. 出欠報告、ミニミニ通信の発行年 6 回以上 「通信などを読んでいる」と回答する保護者 80%以上</p> <p>キ. 「業務が改善された」と感じる教員 80%以上</p>	B	B	<p>○ 訓練を実施している点は評価できるが、参加しにくい背景があるのかを一度確認してもよいかもしれない。現実的な対応につながると思う。</p> <p>○ 健康や安全について数値が低くなりがちなのは仕方ないかもしれないが、生きる上でこれも重要。なんとかして知ってもらいたい。</p> <p>○ 健康意識が伸びにくいのは環境要因もありそうに感じる。原因が見えれば対応しやすくなると思う。</p> <p>○ 生徒たちが安全に生き生きと活動できる学習環境の整備、充実については、学校運営の基盤として今後も積極的に推進していくことが大切であるため、生徒自身も自分たちの学習環境を自分たちでより良くしていこうとする意識を持てるよう常に自分事として考えさせていきたい。</p> <p>○ 学校通信などを通じて学校の様子を発信しているのに、保護者へそれが届かないのは残念。原因は不明だが、さらに多くの保護者に関心を持ってもらえるような働きかけに期待する。</p> <p>○ 学校通信を頻繁に発行している点は十分な努力だと思う。保護者閲覧率は気にしすぎず、生徒に届いていれば一定の役割は果たしていると感じる。</p> <p>○ 業務改善につながっている実感がある点はよい傾向だと思う。現場で役立っているのであれば、そのまま安定運用で十分だと感じる。</p>